



令和5年7月14日

郷土資料館夏季展示 権現山遺跡発掘調査 60周年記念 「あなのあいた壺ー権現山遺跡の底部穿孔壺と墓でつかわれた土器」

郷土資料館の今夏の展示では、権現山遺跡発掘調査 60周年を記念し、同遺跡で出土した底部穿孔土器を紹介します。東中野の権現山遺跡では、昭和38年4月に中学校の社会科教員や生徒、大学生などによって発掘調査が行われ、近隣では珍しい方形周溝墓を検出し、底にあながあいた古墳時代前期の底部穿孔土器が発見されました。底部穿孔土器は、数々の論文で紹介され、埼玉県有形文化財に指定されています。通常は、埼玉県立歴史と民俗の博物館に常設展示されていますが、現在、同館が施設改修により休館中のため、発掘調査以来初めて、郷土資料館で展示します。

本展示会では、近隣の底部穿孔土器や墓で使われた土器もあわせて展示し、古代の人々が墓に捧げた土器を紹介します。

- 1 展示会名** 権現山遺跡発掘調査 60周年記念
あなのあいた壺ー権現山遺跡の底部穿孔壺と墓でつかわれた土器
- 2 主催** 春日部市教育委員会
- 3 会期** 令和5年7月22日（土）～9月3日（日）（休館日：月曜日、祝日）
- 4 開館時間** 午前9時～午後4時45分
- 5 入館料** 無料
- 6 会場** 春日部市郷土資料館
住所：〒344-0062 春日部市粕壁東 3-2-15（春日部市教育センター内）
電話：048-763-2455

問い合わせ先

社会教育部 文化財課（郷土資料館）
担当：鬼塚 内線 4839